

## 2023 年春 超短期海外派遣プログラム (AOTULE シンガポール・マレーシア)募集要項

### = 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会（対面又は zoom）に参加し（参加できない場合は録画視聴すること）、家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

応募説明会：2022 年 10 月 12 日（水） 12:35-13:30 西 2 号館 W241 講義室

Zoom：<https://zoom.us/j/99929107485?pwd=OUF4V3JvQ242dkJIRWtzRTdMVWkrZz09>

\*引き続き超短期派遣夏報告会（13:45-14:15）を開催するので、できる限り参加すること。

・本プログラムで実施する学生派遣については、新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応方針（10. 教職員・学生等の国外出張と私事渡航に関する方針 <https://www.titech.ac.jp/news/2020/046433>）に基づき、国の方針に沿って実施する。

・新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、**自己負担のキャンセル料が発生すること**を了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

（ア）滞在（予定）地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合 [https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory\\_world.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html)

（イ）本学が危険と判断した場合 <https://www.titech.ac.jp/student/students/health/coronavirus>

（ウ）滞在（予定）地域の感染症危険情報レベルが 3 以上になった場合

（エ）派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入域後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

[在シンガポール日本国大使館] [https://www.sg.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.sg.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

[在マレーシア日本国大使館] [https://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

### 【概要】

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本学が加盟する AOTULE (The Asia-Oceania Top University League on Engineering) のメンバー大学である南洋理工大學、マラヤ大学を中心に、シンガポール科学技術研究庁 (A\*STAR) の研究所、その他大学 (シンガポール工科大学) を訪問し、企業等を訪問し、講義受講 (英語)、研究室訪問、工場見学、学生交流を予定しています。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

### 【渡航期間】

2023 年 3 月 5 日 (日) ~ 3 月 16 日 (木) (10 泊 12 日)

\*3 月 5 日 (日) ~ 11 日 (土) は「キャンパスアジア シンガポール」参加者と一緒に行動します。

### 【費用】

約 30 万円 (予定) (航空券代、現地宿泊費)

\*現地での諸経費 (食費、交通費等)、ビザ代、海外旅行保険料は上記の費用には含まれません。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要があります。

\*航空券と現地長距離移動、現地宿泊に関する手配については、本学が一括で手配します。

ただし参加人数により航空券のみ個人手配になる可能性があります。

\*旅費支援(10万円)については下記【奨学金支援】を参照のこと。

#### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。

2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。

3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。② ポートフォリオに必要な事項(グローバル理工人育成コースの志望動機, 所属時ルーブリックの入力(2年次以下は必須))を記入している。

\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下の URL にて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/> (応募者多数の場合は、超短期派遣に初めて参加する者を優先します。)

#### 【応募方法】

T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/563832?lang=ja>) から申し込むこと。

#### 【募集人数】

10名 (最少催行人数6名に達しない場合、プログラムを中止する場合があります。また10人に達しない場合、費用が高くなる可能性があります。)

#### 【選考方法】

書類審査及び面接 (面接は書類審査通過者のみに実施します。)

#### 【応募締切】

2022年11月7日(月)12:00 正午

\*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。

\*留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

#### 【面接予定日】

2022年11月8日(火)~10日(木)12:00-14:00:大岡山キャンパス:対面

#### 【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられる。

2022年11月16日(水)12:35-13:35 書類説明オリエンテーション @W241

\*事前学習の前に海外安全オリエンテーション(録画)を必ず視聴すること。

2022年12月~2023年2月:事前学習3~5回(日程は別途通知)

2023年1月11日(水)18:20 グローバル理工人育成コースシンポジウム(オンライン)

2023年4~5月:成果発表会

(注：事前学習の日程には多少変更がある可能性があります。)

### 【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には10万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、選考後の全体オリエンテーションにて説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

#### 奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）)  
国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること➡学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者  
(原則として家計基準に合致する者) ➡申立書を根拠とする。
4. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

(注)

1. 学士課程1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人海外研修ベーシックIB(1単位)」の単位が付与される。
2. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人海外研修IB(1単位)」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。
  - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず「グローバル理工人海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～3に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。(本年度の取得単位数の上限を既に超えている学生は、別途問い合わせのこと。)
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 宿泊は原則として2名1室となるが、新型コロナウイルス感染に備えて1人部屋を希望する学生は、事前に担当へ相談すること。※宿泊費用は倍額になります。

### 【問合せ先】

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1F） メールボックス：TP-004  
電話：03-5734-3520 / email: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

## 2023年 超短期海外派遣プログラム（シンガポール&マレーシア）日程案

注：訪問内容・日程は現地の都合により一部変更になることがあります。

	Date		行動予定	訪問内容	宿泊
	2023 3月5日	日	羽田発 → シンガポール		シンガポール  (ホテル)
Day 1	3月6日	月	シンガポール工科デザイン大学	学生交流、研究所見学	
Day 2	3月7日	火	南洋理工大学	研究室訪問	
Day 3	3月8日	水	南洋理工大学	講義受講、学生交流	
Day 4	3月9日	木	企業訪問	企業説明会・見学	
Day 5	3月10日	金	南洋理工大学	講義受講、研究室見学	
Day 6	3月11日	土	現地ジャーナリストによる タウンウォーク		
Day 7	3月12日	日	シンガポール発→クアラルンプール		クアラルン プール  (ホテル)
Day 8	3月13日	月	マラヤ大学	キャンパスツアー、研究室訪問	
Day 9	3月14日	火	企業訪問	2社を予定	
Day 10	3月15日	水	クアラルンプール発		機中泊
	3月16日	木	羽田着		